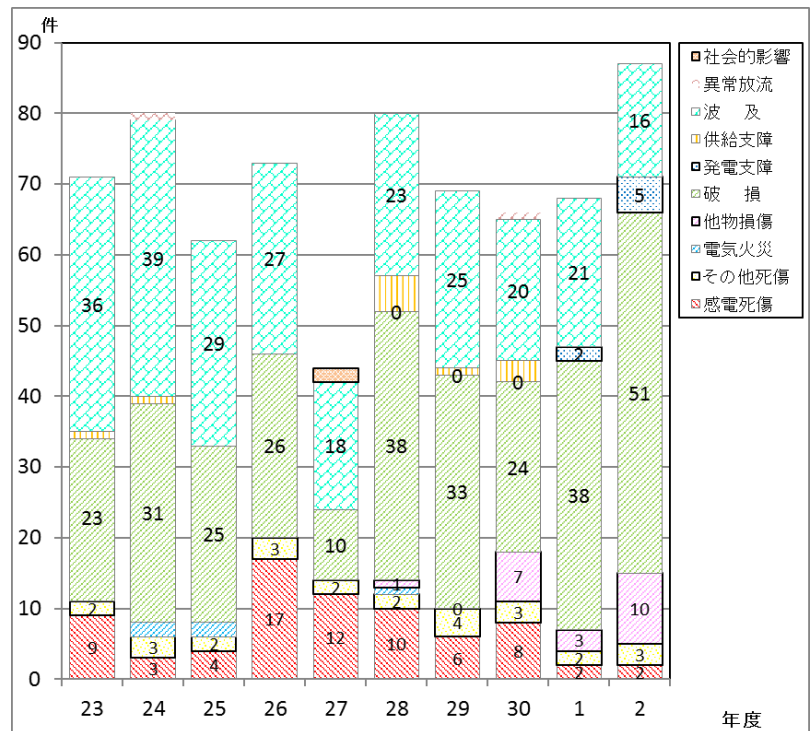


令和2年度九州管内における電気事故について＜概要版＞

図1 電気事故件数の推移



＜電気事故の発生状況＞

☆令和2年度九州管内の電気事故

79件（前年度比+13件）

- ・感電死傷事故 2件
- ・その他死傷事故 3件
- ・他物損壊事故 10件
- ・破損事故 51件
- ・発電支障事故 5件
- ・波及事故 16件

＜種類別の状況＞

1. 感電死傷事故

☆2件(3名)発生（前年度±0）

公衆0件、作業員2件

（過去10年では8月が最多）

☆公衆感電死亡事故 発生なし

図2 感電死傷事故の月別発生件数（過去10年間の累計）

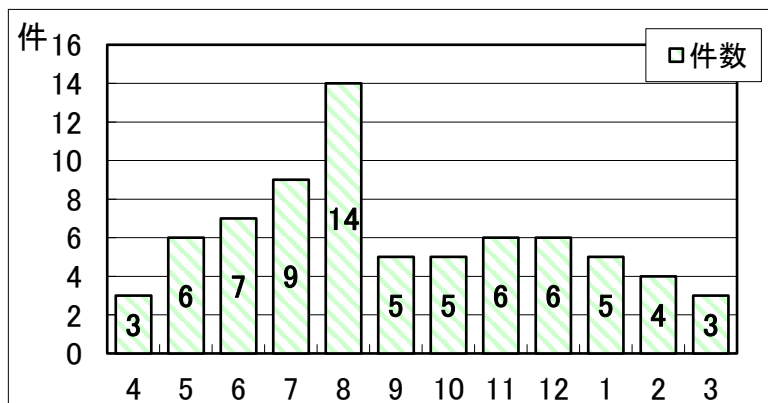


表1 電気事故の種類別発生件数

種類	区分	電気事業用 電気工作物	自家用 電気工作物	計
感電死傷		0 (1)	2 (1)	2 (2)
その他死傷		0 (0)	3 (2)	3 (2)
電気火災		0 (0)	0 (0)	0 (0)
他物損壊		0 (0)	10 (3)	10 (3)
破 損		5 (3)	46 (35)	51 (38)
発電支障		4 (1)	1 (1)	5 (2)
波 及		—	16 (21)	16 (21)
異常放流		0 (0)	0 (0)	0 (0)
社会的影響		0 (0)	0 (0)	0 (0)
計		6 (4)	73 (62)	79 (66)

注1. かつこ内は前年度の件数
注2. 1件の事故で2種類の事故に分類される事故があるため、合計は一致しません。

☆事故例

＜電気作業員＞「被災者の過失」

被災者は、変圧器の温度上昇試験で試験回路を変更するために、通電停止作業を行っていたところ、誤って通電中の試験用補助変圧器の端子を触り、感電した。

＜電気作業員＞「調査中」

被災者は、発電機と昇圧用変圧器を接続する特別高圧母線の点検・清掃作業を行うため、狭い気中絶縁の円筒形構造物で作業中、誤って充電中の導体に触れ感電した（詳細は調査中）

2. その他死傷事故

☆3件(3名)発生(前年度比+1件)

＜公 衆＞「被災者の過失」

被災者は、大型冷蔵庫の移設作業中、逆相を正相にするために、分電盤内で配線の入替えを行っていたところ、充電中の母線バーにドライバーの先端が触れ、発生したアークによって両手に火傷を負った。

＜電気作業員＞「被災者の過失」

被災者は、非常用発電機の消火法による負荷試験を行っていたところ、手順書に記載されていない冷却水の温度測定を行おうとして、筐体の内部に手を入れたところ、冷却用ファンによって手指を切断する重傷を負った。

3. 主要電気工作物の破損事故

- ☆ 51件発生（前年度比＋13件）
- ☆ 発電設備 50件
 - ・ 自家用電気工作物 45件（前年度比＋11件）
 - ・ 電気事業用電気工作物 5件（前年度比＋3件）
- ☆ 需要設備など 1件
 - ・ 自家用電気工作物 1件（前年度同数）

太陽電池発電所	22件（前年度 9件）
火力発電所	13件（同 24件）
水力発電所	9件（同 2件）
風力発電所	6件（同 1件）
需要設備	1件（同 1件）
変電所	0件（同 1件）
送電線	0件（同 0件）

4. 発電支障事故

- ☆ 5件発生（前年度比＋3件）
- ・ 火力発電所ボイラー水管損傷（2件）
- ・ 火力発電所木質ペレット払出コンベア火災（1件）
- ・ 火力発電所石炭ミル火災（1件）
- ・ 火力発電所ガスタービン回転高トリップ（1件）

水害	9件（前年度 0件）
風雨、台風	6件（同 3件）
保守不完全	5件（同 15件）
雷	4件（同 2件）
山崩れ	2件（同 1件）
製作不完全	2件（同 4件）
自然劣化	1件（同 6件）
調査中、不明	22件（同 4件）
化学腐しよく	0件（同 2件）
塩、ちり、ガス	0件（同 1件）

5. 波及事故

- ☆ 16件発生（前年度比▲5件）
- ☆ 月別では、9月6件、8月4件、7月、10月2件、12月、3月1件発生。
過去10年平均では25件発生、
7月～8月に数多く発生。
- ☆ 原因別は、雷7件（44%）、作業者の過失3件（19%）、風雨2件（13%）
- ☆ 設備別は、区分開閉器11件（69%）、
高圧引込ケーブル2件（13%）

図3 波及事故の月別発生件数（過去10年の累計）

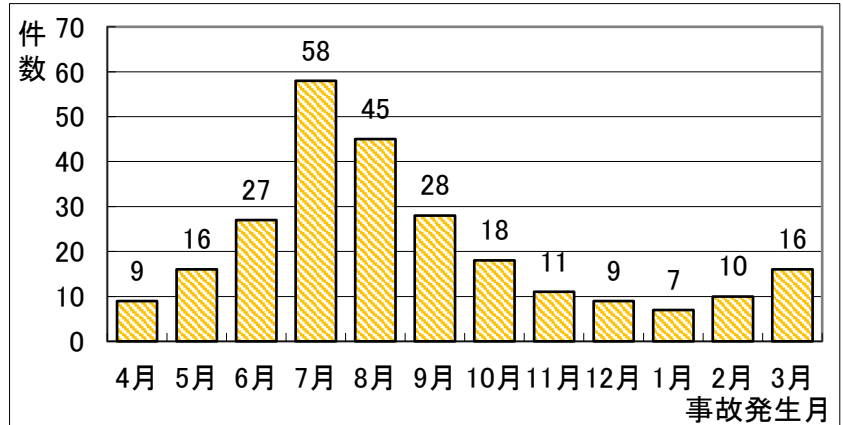
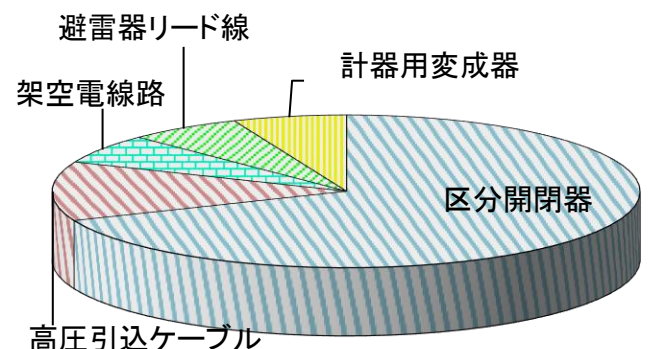


表2 波及事故の原因別発生件数

発生順位	原因	件数	前年度の件数
1	雷	7（43.8%）	8（38.1%）
2	作業者の過失	3（18.8%）	0（0%）
3	風雨	2（12.5%）	5（23.8%）
4	保守不完全	1（6.3%）	6（28.6%）
4	自然劣化	1（6.3%）	0（0%）
4	樹木接触	1（6.3%）	0（0%）
4	不明	1（6.3%）	1（4.8%）
-	山崩れ	0（0）	1（4.8%）
合 計		16（100%）	21（100%）

図4 波及事故の電気工作物別発生状況



6. 他物損壊事故

- ☆ 10件発生（前年度比＋7件）
- ・ 風雨、台風による太陽電池パネル、風力ブレードの構外への飛散（太陽電池7件、風力3件）

7. 電気火災、供給支障、ダムの異常放流及び社会的影響事故

発生なし。